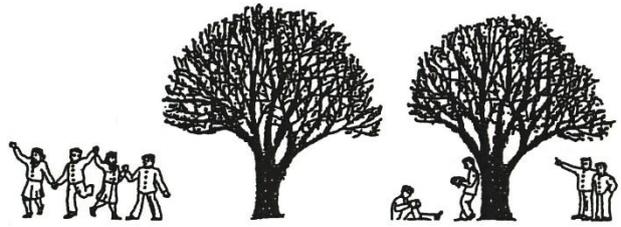


2本のケヤキ

第168号 (令和8年3月10日)



だい かいそつぎょうしき 第38回卒業式

3月2日(月)、PTA会長様はじめ来賓の皆様、保護者の皆様ご臨席のもと、令和7年度 第38回卒業式が本校体育館において行われ、3年生32名が晴れやかな未来へと旅立ちました。厳粛な雰囲気の中、卒業生一人一人に卒業証書を手渡すと、みな礼儀正しく受け取り、3年間の成長が垣間見える立派な卒業式となりました。私は式辞の中で、卒業生に向けて「共生」と「感謝」という2つの言葉を送りました。1つ目の「共生」とは、お互いに得意なことでは助け合い、苦手なところを補い合うことですので、周りの人が困っていたら、手を貸してあげてください。逆に、自分が困ったときには「助けてほしい」と周りの人に伝えてください、と話しました。2つ目は、「感謝」です。「ありがとう」という言葉は、人と人をつなぐ魔法の言葉です。

これからも、日々の生活の中で、言葉や行動で「ありがとう」を周りの人に伝えてください、とも話しました。新しい世界へと踏み出す卒業生の皆さんの未来が、輝かしく幸せなものであることを心から願っています。



ゆ ぜん 「湯けむり全スポぐんま2029」に む け 向けたフライングディスク普及・強化

2029年に全国障害者スポーツ大会が群馬県で開催され、太田市はフライングディスク(知的・身体)とバスケットボール(知的)の競技会場となります。この約50年に一度の地元開催を契機に本校生徒や卒業生ができるだけ多く出場したり、生徒が応援に行ったりすることは、

障害者の生涯スポーツの更なる発展につながる絶好のチャンスと考えます。フライングディスクは、中学校の部活動で取り組んでいる学校はなく、シンプルなので誰でも取り組みやすい競技です。本校では、今後、フライングディスク競技の普及・強化に努めてまいります。

<具体的方策>

- ① 部活動において、総合スポーツ部の「フライングディスク班」を新設し定期的に練習する
- ② 体育祭での競技種目とする(すでにR7より実施)
- ③ 「学年別や学科別のフライングディスク大会」を検討
- ④ 体育の授業にフライングディスクを取り入れる

<取り組みの意義>

・地元開催というまたとない機会を最大限に活かし、生徒が夢と目標を持って日々の練習に取り組むことで、チャレンジ精神と自信を育む。これは、卒業後の生活にも繋がる貴重な成功体験となる。

・フライングディスクという誰もが取り組みやすい競技の普及に貢献するとともに、本校生徒のスポーツへの真摯な姿勢を通じて、地域社会における障害者理解を深める。

ぶかっとう 部活動 フライングディスク班 新設

上記①を受けて、令和8年度より部活動において、総合スポーツ部にフライングディスク班を新設します。現在の1,2年生においても新たな入部や転部が可能です。以下が今後のスケジュールです。

3月中: 現1,2年生向け先行募集開始

・「体験申込書」の配布

・フライングディスク体験実施

・新規入部、転部の受付

(転部の場合は、担任及び顧問と相談)

4月上旬: 部活動開始(体験済みで入部届提出生徒)

4月上旬: 部活動オリエンテーションで実演

5月下旬: 正式入部(新入生を含む)

